

解答編



UNIT 1 過去の文

1 一般動詞(規則動詞)の過去形

- 1 (1) washed (2) looked
(3) studied (4) closed (5) cried
(6) wanted
- 2 (1) We watched TV last night.
(2) Tom carried the big box yesterday.
(3) My uncle lived in Nara five years ago.

解き方

- 1 (3)(5) y を i にかえて ed をつける。
(4) d だけをつける。

やりがち
ミス!

(3) ~~X~~ studied → ~~O~~ studied

(5) ~~X~~ cried → ~~O~~ cried

- 2 いずれも()内の語句は過去を表すもの。また、主語が3人称単数でも、現在の文のときのように形がかわることはない。
(2) carries を carried にする。原形は carry。
(3) lives を lived にする。原形は live。

2 一般動詞(不規則動詞)の過去形

- 1 (1) ran (2) made (3) read
(4) ate (5) swam (6) saw
- 2 (1) He taught English at a high school last year.
(2) We bought a lot of books yesterday.
(3) Jane went to the park many years ago.
(4) Mana came to my house yesterday evening.

解き方

- 1 (1) u → a と変化。

- (3) 発音には十分注意する。原形はリード [ri:d]、過去形はレッド [red] になる。

ここも大事!



過去を表す語句!

- ・「先～」の意味を表すもの
last week (先週) / last month (先月) /
last year (昨年) / last Sunday (この
前の日曜日)

3 一般動詞の過去の否定文

- 1 (1) didn't eat (2) didn't read
- 2 (1) He did not come to the event last month.
(2) We didn't take any pictures at the zoo.
(3) My brother didn't have a bike at that time.

解き方

- 1 (2) もとの文の read は現在形ではなく過去形。主語が3人称単数なので、現在の文なら read に s がつく。

やりがち
ミス!

(1) didn't [did not] のあとには必ず動詞の原形。
didn't ~~X~~ ate → ~~O~~ eat

ここも大事!



some と any !

some は肯定文で使い、否定文では any を使って「1つも、1人も(～ない)」の意味になる。

I have **some** pens in my bag.

(私はかばんに何本かのペンを持っています。)

I don't have **any** pens in my bag.

(私はかばんに1本もペンを持っていません。)

4 一般動詞の過去の疑問文

- 1 (1) Did, help
(2) Did, write
- 2 (1) Did / Yes / went
(2) Did / didn't / made

解き方

- 1 (2) wrote は write の過去形である。

やりがち
ミス!



Didを使ったら、あとの動詞は原形に。

Did Yui ~~X~~ helped → help

Did she ~~X~~ wrote → write

- 2 (1) 質問の文に yesterday があるので、過去の文。go の過去形は went。
(2) 質問の文に last night があるので、過去の文。make の過去形は made。

5 be 動詞の過去形

- 1 (1) was (2) were (3) book
(4) Riku and Hina
- 2 (1) We were twelve years old two years ago.
(2) Many people were in the sea this morning.
(3) My brother was very angry last night.

解き方

- 1 (1) yesterday があるので、過去形の was。
(4) be 動詞が were なので、主語は複数の Riku and Hina。
- 2 まず主語になる語句をさがし、それに合う be 動詞を続ける。
(2) 主語は Many people。be 動詞は were。

6 be 動詞の過去の否定文と疑問文

- 1 (1) was not (2) were not
(3) wasn't
- 2 (1) Was it (2) Were they

解き方

- 1 否定文は be 動詞のあとに not。
(3) 空所が1つなので、短縮形の wasn't を使う。



否定文の very や so に注意!

not very ~ は「あまり~ない」、not so ~ は「そんなに~ない」の意味になる。

This book is not very difficult.

(この本はあまり難しくありません。)

Tom is not so tall.

(トムはそんなに背が高くありません。)

7 確認問題 1

- 1 (1) made (2) was (3) got
(4) bought (5) swam (6) wrote
- 2 (1) They didn't [did not] play tennis yesterday.
(2) We weren't [were not] in Hokkaido last week.
(3) Did they study English and math today?
(4) Was her new book very interesting?
- 3 (1) Did, go (2) Did, meet [see]
(3) lived, studied
(4) didn't read
- 4 (1) She wasn't so busy yesterday.
(2) Did you wash the dishes after dinner?
(3) Emma didn't go to Tokyo last year.
(4) Were the books very useful to you?

解き方

- 2 (3) 一般動詞の過去の疑問文に。Did で始めて、動詞は原形にもどす。
- 3 (3) study は y を i にかえて ed をつける。
(4) 空所が2つなので、did not の短縮形 didn't を使う。
- 4 (1) be 動詞の過去の否定文になる。wasn't は was not の短縮形。

UNIT 2 過去の文のさまざまな用法

8 疑問詞 + 過去形 ①

- 1 (1) Where, go (2) When, write
- 2 (1) Who (2) When / washed
(3) Where / bought

解き方

- 1 (1) 下線部は「病院へ」という場所を表すので、**Where** で始まる疑問文にする。
(2) 下線部は「先週」という時を表すので、**When** で始まる疑問文にする。
- 2 (1) 答えの中心になるのは **Mr. Nakamura**。
(2) 答えの中心になるのは **this morning** (今朝)。
(3) 答えの中心になるのは **in Kyoto**。buy の過去形は **bought**。

9 疑問詞 + 過去形②

- 1 (1) **What**、**see**
(2) **How many**、**have**
- 2 (1) **How** (2) **What / washed**
(3) **How many / used**

解き方

- 1 (1) 下線部は「きみょうな虫」という人間以外のものを表すので、**What** で始まる疑問文にする。
(2) 下線部は「4 (ひき)の」という数を表すので、**How many** で始まる疑問文にする。
- 2 (1) 答えの中心になるのは **walked**。
(2) 答えの中心になるのは **my bike and my father's car**。
(3) 答えの中心になるのは **ten**。use の過去形は **used**。

10 過去進行形①

- 1 (1) **I was singing an English song then.**
(2) **We were listening to music after school.**
(3) **He was not making sandwiches in the kitchen.**
- 2 (1) **was walking**
(2) **wasn't reading**

解き方

- 1 (3) **not** があるので否定文にする。**not** は **be** 動詞と **~ing** の間に入れる。
- 2 (2) もとの文に **didn't** とあるので、過去進行形も否定文にする。空所が2つなので、**was not** の短縮形 **wasn't** を使う。

11 過去進行形②

- 1 (1) **Were they learning**
(2) **Were you having**
- 2 (1) **What / playing**
(2) **Where**
(3) **How**

解き方

- 2 (1) 「何を」ひいていたのかをたずねるので、**What** の疑問文。
(2) 場所を答えているので、**Where** の疑問文。
(3) 数を答えているので、**How many** の疑問文。

ここも大事!



疑問詞が主語になる疑問文と答え方!

疑問詞が主語になっている文には〈主語 + be 動詞〉で答えるのがふつう。

Who was swimming with you?

— **Ken was.**

(だれがあなたと泳いでいましたか。)

— **ケンが泳いでいました。**)

12 現在形と過去形①

- 1 (1) ① **私の両親は有名な音楽家でした。**
② **私の両親は今ロサンゼルスにいます。**
(2) ① **トムは今とてもいそがしいです。**
② **トムは先週とてもいそがしかったです。**
(3) ① **この犬は小さく、あの犬も小さいです。**
② **この犬は今大きいです、去年は小さかったです。**

解き方

- 1 (3) ① 前半後半とも「～は…です。」の文。② 前半は現在の文で、後半は過去の文。

13 現在形と過去形②

- 1 (1) ① 私は毎日11時に寝ます。
 ② 私は3年ほど前はたいてい11時に寝ました。
- (2) ① 彼女はたくさんの友人がいます。
 ② 彼女はたいてい教室で昼食を食べます。
- (3) ① 月は地球のまわりをまわっています。
 ② 彼らは昨年長崎に引っ越ししました。

解き方

- 1 (2) ① 「いる」という現在の状態。② この文の has (have) は「食べる」の意味。現在の習慣・反復的な動作を表している。

14 確認問題 2

- 1 (1) was (2) were (3) has
 (4) put (5) making (6) taking
- 2 (1) Where did they play basketball?
 (2) What were they singing on the stage?
 (3) How many subjects did Riku study at school yesterday?
 (4) Who played tennis here this morning?
- 3 (1) were, doing (2) did, buy
 (3) lives, teaches
 (4) wasn't swimming
- 4 (1) We were talking about our new teacher.
 (2) Where did you wash your bike?
 (3) How did you get this doll?
 (4) How was the weather in Okinawa?

解き方

- 1 (4) 一般動詞の過去の文。put の過去形は同じ形。
 (5) 過去進行形の文。make は e をとって ing をつける。
- 2 (1) 下線部は場所を表しているので、Where で始まる一般動詞の過去の疑問文を作る。
 (2) What で始まる過去進行形の疑問文を作る。
 (3) 下線部は数を表しているので、How many で始まる一般動詞の過去の疑問文を作る。
 (4) 下線部は人が主語になっているので、Who で始まる疑問文を作る。Who をそのまま主語として使う一般動詞の過去の疑問文を作る。
- 3 (3) 現在形の文。teach → teaches に注意。
 (4) 空所が2つなので、was not の短縮形 wasn't を使う。過去進行形の否定文にする。
- 4 (1) 過去進行形の文。talk about ~で「～について話す」。
 (4) 過去の天気をたずねる文。

UNIT 3 There is[are] ~. の文

15 There is[are] ~. の文①

- 1 (1) 私たちの町には、あります
 (2) カップに、あります
- 2 (1) There is a big apple in my bag.
 (2) There is only one student in the classroom.

解き方

- 1 一般に人には「います」、人以外には「あります」を使う。
 2 (2) There is one student in the classroom. に only を加えたもの。



ここも大事!

only(～だけ)の位置に注意!

「(たった)～だけ」の意味を表す only は数を表す語句の前に置く。

- × There is one only student there.
 ○ There is only one student there.

16 There is[are] ～. の文②

- 1 (1) その公園には、たくさんいます
(2) 5年前、大きな建物〔ビル〕がありました
- 2 (1) There are ten books on the shelf.
(2) There was a small table in the kitchen.
(3) There were two good players on the team.

解き方

- 2 (1) is が不要。books と複数なので、There are ～. の文になる。
(2) were が不要。table と単数なので、There was ～. の文になる。
(3) was が不要。players と複数形なので、There were ～. の文になる。on the team の on にも注意しておこう。

17 There is[are] ～. の否定文

- 1 (1) 多くの部員はいません〔部員は多くはありません〕
(2) 雲が(1つも)ありませんでした
- 2 (1) There is not a French dish on the menu.
(2) There was not much snow last year.
(3) There were no cars on the street yesterday.

解き方

- 1 (1) not many ～で「(いることはいるが)多くはない」ということ。数えられない名詞には many の代わりに much を使う。
(2) There was much snow last year. を否定文にしたもの。
(3) 名詞 (cars) の前に no を置いた否定文を作る。

やりがちミス!



(2) much はここでは形容詞なので名詞 (snow) の前に置く。

There was not ~~X~~ snow much
There was not ~~O~~ much snow ...

18 There is[are] ～. の疑問文

- 1 (1) Is there
(2) Are there any
- 2 (1) Were / were
(2) Is / there
(3) How many

解き方

- 1 疑問文は be 動詞を there の前に出す。

やりがちミス!



(2) 肯定文の some は疑問文ではふつう any に!

Are there ~~X~~ some birds ~?

Are there ~~O~~ any birds ~?

- 2 (1) onions と複数なので、Are か Were。最後の文が There was only one. と過去になっているので Were。
(2) a park と単数なので、Is か Was。2つ目の空所のあとに is があるので Is。
(3) 答えの文で about twenty と数を答えているので How many ~? の疑問文になる。

これも大事!



数ではなく量をたずねる疑問文!

数えられる名詞について「いくつの」のようにその数をたずねるときは How many を使うが、「どれくらい(の量)の」とたずねるときは How much ~? を使う。数えられない名詞なので、How much のあとには s や es のつかない名詞が続く。

How much cheese is there in the fridge? — There is some.

(冷蔵庫にはどれくらいチーズがありますか [残っていますか]。一少しあります。)

この答えの文のように、数えられない名詞にも some を使うことも覚えておこう。

19 確認問題3

- 1 (1) is (2) is (3) are
(4) was (5) were (6) were
- 2 (1) There were many cats under the tree.
(2) There are not [There aren't, There're not] any oranges in the box.
(3) Are there any tall trees in the schoolyard?
(4) How many paintings are there on the wall?
- 3 (1) is, water
(2) were no [weren't any]
(3) How, books (4) were twelve
- 4 (1) There are some big festivals here in summer.
(2) There is not a big hospital in this town.
(3) Are there any parks near the station?
(4) How many desks are there in this room?

解き方


- 1 (2) some がついていても milk が数えられない名詞なので is。
(4) many years ago があり、tree が単数なので was。
(6) only があっても days が複数なので were。
- 2 (1) cat を複数形にして、was も were に。
(2) 否定文では some は any にかえる。There are no oranges in the box. でもよい。
(3) 疑問文ではふつう some を any にかえる。
(4) 下線部は数を表しているの、How many で始まる疑問文にする。
- 3 (1) no を使う否定文に。water は数えられない名詞なので複数形にすることはしない。
(2) no と not の両方の否定文を作ることができる。
(4) 数字のあとの名詞を省略した形になる。
- 4 (1) some big festivals の語順にも注意する。
(2) not は be 動詞のあと。
(3) 疑問文なので any が使われている。
(4) 数をたずねる疑問文になるので、How many のあとに desks を続ける。

UNIT 4 未来の文


20 be going to ~

- 1 (1) am (2) going (3) to (4) are
(5) are
- 2 (1) I'm going to buy a new bike tomorrow.
(2) They are going to visit Kyoto next Sunday.
(3) She's going to get up early tomorrow morning.

解き方

- 1 やりがちミス!
 (5) 主語は Ken and Yuna で複数。Yuna につられて is としないこと。
Ken and Yuna ~~X~~ is ...
Ken and Yuna ~~O~~ are ...

- 2 (3) she's は she is の短縮形。

ここも大事!
 be going to ~ は次の意味でも使われる!


be going to ~ は、まわりの状況から、「~しそうだ、~になりそうだ」の意味でも使われる。
Look at the clouds. It's going to rain soon.
(あの雲を見て。じきに雨が降りそうだよ。)

21 be going to ~ の否定文と疑問文

- 1 (1) I'm not going
(2) aren't going
(3) Hana isn't going
- 2 (1) Is Alex going to
(2) Are they going to

解き方

- 1 (2) are not の短縮形 aren't を使う。
(3) is not の短縮形 isn't を使う。

やりがちミス!
 (2) are not を入れると、going がなくなってしまう。
We ~~X~~ are not to ...
We ~~O~~ aren't going to ...

- 2 いずれも be 動詞を主語の前に出す。

22 will

- 1 (1) パーティーについてヒナと話すつもりです
(2) パーティーに来るでしょう
- 2 (1) I will wash the plates after dinner.
(2) Leon will get up early tomorrow morning.
(3) The rugby game will be very exciting tomorrow.

解き方

- 1 (1) この文の will は「～するつもりだ」という話者の意志を表している。
(2) この文の will は「～でしょう」という話者の推測を表している。ただし、前後関係で「彼女は明日の夕方パーティーに来るつもりです。」という意味になることもある。
- 2 いずれも will のあとに動詞の原形を置く。
(3) be 動詞の原形は be になる。

ここも大事!



exciting と excited !

exciting は「(人)をわくわくさせるような、興奮させる(ような)」の意味で、主語には人はこない。excited は「(人が)わくわくして、興奮して」の意味で、主語には人がくる。

The game was very **exciting**.
(その試合はとてわくわくさせてくれました。)
We were very **excited at the game**.
(私たちはその試合にとてわくわくしました[興奮しました])

23 will の否定文と疑問文

- 1 (1) will not visit
(2) won't come
(3) won't be
- 2 (1) Will Ann go
(2) Will they visit

解き方

- 1 (1) will のあとに not を置き、そのあとに動詞の原形を続ける。
(2)(3) will not の短縮形 won't を使う。なお、(3) の be 動詞の原形の be にも注意しておく。また、

won't の発音は [ウォウント] になることも覚えておこう。

- 2 いずれも will を主語の前に出す。

24 現在形と未来形①

- 1 (1) ① その芸術家は今とても有名です。
② その芸術家は1、2年でとても有名になるでしょう。
(2) ① すべての生徒が体育館にいます。
② 明日の朝はすべての生徒が体育館にいます。
(3) ① 私は今日の夕方6時までにはここにもどって来ます。
② その迷い犬はまもなくここにもどって来でしょう。

解き方

- 1 (1) ② 未来の推測。will be は「～になる」という日本語をあてたほうがよい場合がある。
(3) ① 話者の意志を表している。
② 推測を表している。

25 現在形と未来形②

- 1 (1) ① 彼女は毎日11時に寝ます。
② 彼女は今日10時に寝るでしょう。
(2) ① ボブが友だちと学校に向かっています。
② ボブは今日家で勉強するつもりです。
(3) ① 電車がホームを離れていきます[出発してきます]よ。
② この電車はあと10分で出発する予定です。

解き方

- 1 (1) ① 現在の習慣を表す。
② 未来の推測。前後関係により「10時に寝るつもりです。」という日本語になることもある。
(2) ① 目の前に見えている現在進行形。
② be going to の未来の文。
(3) ① 目の前に見えている現在進行形。
② 近い未来を表す現在進行形。

26 確認問題 4

- 1 (1) am (2) next month (3) goes
(4) will (5) be (6) They're
- 2 (1) We will not [We won't, We'll not] have any guests tomorrow evening.
(2) Luke is not [isn't] going to leave this town next year.
(3) Is his brother going to walk to the library tomorrow?
(4) How many people is he going to meet there?
- 3 (1) will be (2) won't play
(3) I'm going to (4) Is, going
- 4 (1) What are you going to do here tonight?
(2) Where will she live in Australia?
(3) What time are you going to leave home?
(4) How will you go to the station tomorrow?

解き方

- 1 (4) wills となることはない。
(5) be 動詞の原形は be。
(6) They だと be 動詞のない文になってしまう。

やりがちミス!
It's going to ~~X~~ is ...
It's going to ~~O~~ be ...
be 動詞の原形は be。

- 2 (1) 否定文は will のあとに not。短縮形にも注意しておこう。また、否定文なので、some を any にすることを忘れないように。We will have no guests tomorrow evening. もよい。
(4) 下線部は数を表しているのので、How many で始まる疑問文にする。
- 3 (1) busy は形容詞なので、be 動詞が必要。
- 4 (3) What time のあとに be going to の疑問文の語順を続ける。

UNIT 5 接続詞

27 and / but / or / so

- 1 (1) ① 私は読書が好きで、(そして) 私の姉(妹)も(読書が)好きです。
② 私は読書が好きですが、(しかし) 私の姉(妹)は(読書が)好きではありません。
- (2) ① ケンはとても背が高く、天じょうにさわることができます。
② ケンはとても背が高く、それで [だから] 天じょうにさわることができます。
- 2 (1) Hurry up, or you will miss the train.
(2) Hurry up, and you can catch the train.

解き方

- 1 (1) ① この and は「そして」の意味で、日本語では特に言い表さないこともある。なお、does は likes reading を表している。
② doesn't のあとには like reading が省略されている。
- (2) ① この文の so は「とても、非常に」の副詞。
② この文の so は「だから、それで」の接続詞。

28 when / if / because など

- 1 (1) because (2) when (3) until
(4) before (5) after
- 2 (1) When I was a child, I lived in Australia.
(2) I'll help you if you are busy this afternoon.
(3) I was very happy because I got a present.

ここも大事!



文の中の接続詞の位置!

when などの接続詞は、文のはじめにもあとにも置くことができる。文のはじめに置いたときは、ふつうコンマ(,)で区切る。

- 2 (1) = I lived in Australia when I was a child.

29 that

- 1 (1) think ∧ he / よい生徒だと思います [思っています]
 (2) I ∧ that / (その)パーティーに来てくれたらいいと思います [来てくれること望みます]
 (3) I ∧ think / 彼はこのコンピュータを使うことができないと思います [使うことができるとは思いません]
- 2 (1) Do you know that Ken is in America?
 (2) I hear it will be rainy tomorrow.

解き方

- 1 (1) thatはthinkのあと。thatは省略できるので、もとの文も正しい。
 (3) thinkを否定する形になるので、don'tはthinkの前。
- 2 (1) know that ~を使った疑問文。
 (2) hear that ~のthatを省略した文。

ここも大事!



接続詞thatを使うその他の動詞!

- ・ find (that) ~ (〜だとわかる)
- ・ say (that) ~ (〜と言う)
- ・ believe (that) ~ (〜と信じる)
- ・ feel (that) ~ (〜という気がする、〜と感じる)

30 be 動詞 + 形容詞 (+ that) ~

- 1 (1) ネコが突然死んだことを悲しんでいます
 (2) 私のプレゼントを気に入ってくれてうれしいです
- 2 (1) I'm sure that you'll enjoy this book.
 (2) He is afraid that he will lose again.
 (3) I'm sorry you can't come to the party.

解き方

- 2 (3) be sorry that ~ (〜ということが残念だ)の

thatを省略した文。

ここも大事!



<be 動詞 + 形容詞 (+ that) ~>のその他の表現!

- ・ be proud (that) ~
 (〜ということを誇りに思う)
- ・ be surprised (that) ~
 (〜ということに驚く)
- ・ be worried (that) ~
 (〜ということを心配する)

31 確認問題 5

- 1 (1) and (2) or (3) that
 (4) until (5) or (6) rains
- 2 (1) thought、was
 (2) If、hurry
 (3) sure that
 (4) after
- 3 (1) didn't、because (2) when、has
 (3) sorry that
 (4) sad that [because]
- 4 (1) I was afraid that I was wrong.
 (2) I hope we will be friends.
 (3) Did you know that she had three dogs?
 (4) I hear a lot of people will come to the party.

解き方


- 1 (1) 「あなたと私は」
 (2) 「本か(それとも)ノートか」
 (3) know that ~ 「〜を知っている」
 (4) 「彼がもどって来るまで(ずっと)」
 (5) 「さもないと電車に乗り遅れますよ」
 (6) 条件や時を表すときは、未来のことでも現在形で表す。ifは条件を表す。
- 2 (1) 時制の一致でisもwasにする。
 (2) 「もし〜すれば」と言いかえられる。
 (3) 「きっと〜だと思う」はbe sure that ~。
 (4) beforeと対になる接続詞はafter。
- 3 (3) 「〜ということをつまなく[申し訳なく]思う」はbe sorry that ~。
 (4) 「〜ということが悲しい」はbe sad that ~。
- 4 (2)(4) 接続詞thatが省略されている。
 (4) 「〜するそうです」は「〜だと聞いている」で表す。

UNIT 6 不定詞


32 不定詞の名詞的用法①

- 1 (1) to go (2) read (3) to learn
(4) rain
- 2 (1) I decided to buy a new computer.
(2) I hope to see you again.
(3) I would like to stay here.

解き方

- 1 やりがちミス!
 (2) 主語が3人称単数でも、不定詞の動詞にsやesがつくことはない。
 He likes to **X**reads comic books.
 He likes to **O**read comic books.

- 2 (1) decide to ~「~することに決める」
 (2) hope to ~「~することを望む」
 (3) would like to ~「~したいものだ」

- ここも大事!
 不定詞が目的語になる他の動詞!
 ・ wish to ~ (～したいと思う〈want to ~〉より控えめな表現)
 ・ love to ~ (～することが大好きだ)
 ・ forget to ~ (～するのを忘れる)

33 不定詞の名詞的用法②

- 1 (1) 英語をじょうずに話すことは
(2) 宇宙飛行士になることです
- 2 (1) To get up early is good for you.
(2) My plan is to visit some museums in London.
(3) To go there alone is very dangerous.

解き方

- 1 (2) 補語になる用法。to be は「~になること」の意味で使われることが多い。
- 2 (1) To get up early は文の主語。
 (2) to visit some museums in Londonが補語。
 (3) To go there alone が文の主語。

34 不定詞の副詞的用法①

- 1 (1) 英語の教師になるために
(2) 美術を勉強するために
- 2 (1) I went to the park to take pictures of flowers.
(2) I use a computer to enjoy the Internet.
(3) Shota is studying hard to be a doctor.

解き方

- 1 (1) to be an English teacher が studied の目的を表している。
 (2) to study art が went の目的を表している。

35 不定詞の副詞的用法②

- 1 (1) プレゼントをいただいて[もらって]
(2) 知らせ[ニュース]を聞いて悲しくなりました[悲しかったです]
- 2 (1) I was surprised to know the fact.
(2) I'm happy to know that you're safe.
(3) Your mother will be angry to see your grade on the test.

36 不定詞の形容詞的用法①

- 1 (1) 私を助けてくれる[手伝ってくれる]友人がたくさん
(2) することが何もありません[しなければいけないことは何もありません]
- 2 (1) I have no money to buy the bike.
(2) I want something to drink.
(3) I don't have anything to say.

解き方

- 2 (2) I want to drink something. の to drink は名詞的用法の不定詞になる。意味はほぼ同じ。
 (3) to say 以下が anything を修飾。I don't have to say anything. も正解だが、don't have to については本書56ページを参照。

ここを大事!



- ① の(1)に関連して次の
ちがいに注意!

I have some friends to help me.
(私を助けてくれる友人が数人います。)

I have some friends to help.
(私には助けるべき[助けないといけない]友人が数人います。)

上の文では help するのは some friends であり、下の文では help するのは I になる。

37 不定詞の形容詞的用法②

- ① (1) すわる [すわるための] いすが
(2) 何かからい [温かい] 食べ物が
- ② (1) He had no house to live in then.
(2) I want something cold to drink.
(3) I want someone to talk with.

解き方

- ① (2) 形容詞 hot の位置に注意。代名詞のあと、不定詞の前に置く。
② (2) 形容詞 cold は something のあと。
(3) 「話す(ため)のだれか」と考える。

38 確認問題 6

- ① (1) like play (2) is go
(3) here see
(4) something eat
(5) surprised hear
(6) started play
- ② (1) wants to be [become]
(2) something、eat
(3) to play
(4) to talk
- ③ (1) nothing to (2) to drink
(3) to do (4) try to
- ④ (1) When did it begin to rain?
(2) I want to go to the stadium to watch the soccer game.
(3) He had no time to help me.
(4) My mother uses this bike to go shopping.

解き方

- ② (2) 「食べ物」→「何か食べるためのもの」と表す。
③ (1) nothing を形容詞的用法の不定詞が修飾するようにする。
(2) something を形容詞的用法の不定詞が修飾するようにする。
(3) 目的を表す副詞的用法の不定詞を使う。
(4) 「～しようとする」は try to ～。名詞的用法。
④ (2) 「～したい」は want to ～、「～を見るために」は to watch ～。
(3) no time を形容詞的用法の不定詞がうしろから修飾する形にする。

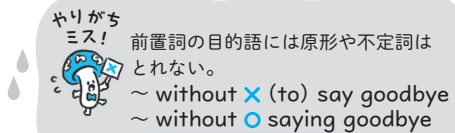
UNIT 7 動名詞と不定詞

39 動名詞①

- ① (1) going (2) Speaking
(3) taking
(4) saying
- ② (1) How about writing a letter to her?
(2) Ken isn't good at swimming.
(3) My hobby is collecting old stamps.

解き方

- ① (4) 前置詞 (without) の目的語になる動名詞。



- ② (1) How about ~ing? 「～するのはどうですか」

40 動名詞②

- ① (1) talking (2) to go (3) to call
(4) to see
- ② (1) I don't remember visiting the city.
(2) We enjoyed watching the game on TV.
(3) When did you finish reading the book?

解き方

- (1) stopの目的語は動名詞。stop to ~は「～するために立ち止まる」の意味になる。
(3) remember to ~で「(これから)忘れずに～する、～することを忘れない」。remember ~ingは「～したことを覚えている、～したことを思い出す」。この問題ではtomorrow morningがあるので、これからのことになるので、rememberのあとに不定詞にする。
- (3) finishの目的語は動名詞。Whenで始まる過去の疑問文にする。

41 疑問詞 + to ~

- (1) この機械の使い方を[どのようにこの機械を使えばよいかを]
(2) どこに行けばよいかを
- (1) I want to know what to see in Kyoto.
(2) I'll tell him when to come here.
(3) Can you teach me how to play the guitar?

解き方

- (1) how to use ~は「～の使い方、～をどう使えばいいか」の意味。how to use ~がknowの目的語になっている。
(2) where to goは「どこに行けばいいか」の意味。これが2つ目の目的語になっている。
- (1) knowの目的語にwhat to see ~を使う。
(2) when to come hereを2つ目の目的語に使う。
(3) how to play the guitarを2つ目の目的語に使う。

42 It is ... (for ~) to ~.

- (1) この川で泳ぐことは
(2) あなたが[あなたにとって]この質問に答えることは
- (1) It is fun to listen to music.
(2) It is interesting to watch the stars.
(3) It is important for you to meet the person.

解き方

- (1) Itは形式主語でto swim ~を指す。
(2) for youはto answer ~の意味上の主語で「あなたにとって」の意味。
- いずれもIt isで始まるので、toのあとにくる動詞の原形をまずさがそう。

ここも大事!



否定文にも慣れておこう!

It isn't easy for me to ride a bicycle.
(私が自転車に乗ることは簡単ではありません。)

43 確認問題 7

- (1) to go (2) saying
(3) watching
(4) to play (5) to be (6) coming
- (1) to hear
(2) difficult to
(3) to stay
(4) her when to leave
- (1) cold to drink (2) to visit
(3) how to (4) to finish
- (1) I have nothing to buy here.
(2) I would like to stay here.
(3) When did it begin to rain?
(4) It wasn't easy for me to read this book.

解き方

- (1) where to go「どこに行ったらよいか」
(3) stop ~ing「～するのをやめる」。この~ingは動名詞。
(5) 名詞的用法の不定詞。be動詞の原形はbe。

やりがちミス!



(2)(6) without、forはいずれも前置詞なので、あとには不定詞ではなく動名詞が続く。

... without X to say ...
... without O saying ...

... for X to come ...
... for O coming ...

- (2) 形式主語のItを使う文。
(3) decideは不定詞を目的語にとる動詞。
- (1) <-thing + 形容詞 + to ~>の語順。
(3) <tell + 人 + 疑問詞 + to ~>の語順。
- (2) would like toはwant toのていねいな表現。
(4) It is ... for ~ to ~.の過去の否定文。

UNIT 8 助動詞

44 may

- 1 (1) あなたの電話を使ってもいいですか
(2) 怒っているかもしれません
- 2 (1) She may be surprised to hear the news.
(2) May I ask your email address?
(3) She may not go out today.

解き方

- 1 (2) この文の may は推量を表している。「～かもしれない」の意味。
- 2 (1) may のあとには動詞の原形。be 動詞の原形は be。

ここも大事!



May I ~? に対する答え方!

May I ~? に対して、Yes, you may. / No, you may not. と答えると、目上の人が目下の人に話す感じになるので失礼になることがある。ふつうは本書51ページにあるような答え方をすることを覚えておこう。

45 must

- 1 (1) さわってはいけません
(2) 疲れているにちがいありません
- 2 (1) Must I finish the homework today?
(2) You must help your mother every day.
(3) This must be her new bag.

解き方

- 2 (3) This を主語にした「～にちがいない」という文を作る。

ここも大事!



must の文の書きかえに注意!

- 1 (1) = Don't touch my computer.
- 2 (2) = Help your mother every day.
(3) = I'm sure (that) this is her new bag.

46 Will you ~?

- 1 (1) 仕事を手伝ってくれませんか
(2) 食べませんか
- 2 (1) Will you open the windows?
(2) Will you wash my car for me?
(3) Will you have some tea?

解き方

- 2 (3) 「～しませんか」の勧誘の文。勧誘のような文で、Yes の答えを期待するときは、疑問文でも any ではなく some を使うことも覚えておこう。

47 Shall I ~? / Shall we ~?

- 1 (1) 運びましょうか
(2) 踊りましょうか [踊りませんか]
- 2 (1) Shall I make dinner this evening?
(2) Shall we go to the library?
(3) What shall we do today?

解き方

- 1 (1) Shall I ~? は「(私が)～しましょうか」と相手に提案をする言い方。
(2) Shall we ~? は「私」を含む2人以上が「～しましょうか、～しませんか」と勧誘する言い方。
- 2 (3) What があるので、このあとに shall we ~ を続ける形にする。What が do の目的語になる。

48 could / would / should

- 1 (1) すべきではありません
(2) 閉めていただけますか
- 2 (1) You should go to the hospital.
(2) What should we do now?
(3) Would you like something to eat?

解き方

- 1 (2) Could you ~? は Can you ~? のていねいな言い方。「～していただけますか」の意味。
- 2 (3) Would you like のあとに something を続ける。to eat は形容詞的用法の不定詞。

ここも大事!



よく使うその他の助動詞!

- ・ used to ~ (かつては~したものだ)
I used to walk my dog in the park.
(かつては)私は公園に犬を散歩に連れて
行ったものでした。)

49 have to / be able to

- (1) 終える必要はありません[終えなくともよいです]
(2) 歌うことができますか[歌えますか]
- (1) I had to go to school last Sunday.
(2) He will have to leave his hometown.
(3) She was able to solve the problem.

解き方

- (1) don't [doesn't] have to ~ は「~する必要はない、~しなくてもよい」の意味を表す。
(2) be able to ~ の疑問文。

やりがちミス!



- (1) must not ~ は「~してはいけない」という禁止を表すが、don't have to ~ は「~する必要はない」の意味。

- × 終えてはいけません
- 終える必要はありません

- (1) have to ~ の過去の文。過去形は had。
(2) have to ~ の未来の文。will のあとに have to を続ける。
(3) be able to ~ の過去の文。be 動詞が過去形になっている。

50 確認問題 8

- (1) has (2) be (3) Shall
(4) Could (5) should not
(6) able to
- (1) don't have to (2) be able to
(3) Shall we (4) must not
- (1) I (2) may
(3) be (4) Would

- (1) I was not able to answer the question.
(2) What should we do next?
(3) Could you read this letter to me?
(4) Ms. Miller must be very busy at this time.

解き方

- (3) 「~しましょうか」は Shall I ~?
(4) Could you ~? は「~していただけますか」の意味で、Can you ~? よりもていねいな言い方になる。
(6) can が be able to のどちらかにする。is があることに注意。
- (1) 「~する必要はない」は don't [doesn't] have to ~。
(2) will のあとに be able to を続ける。
(3) 「~しましょう」を「~ませんか」の Shall we ~? で表す。
(4) 否定の命令文を、must not 「~してはいけません」で表す。
- (1) May の代わりに Can を使うこともある。
(4) 「~をいかがですか」は Would you like ~?。
- (3) 「~していただけますか」とていねいに依頼するには、Could you ~? か Would you ~? で表す。

UNIT 9 比較の文

51 比較級 (-er)

- (1) longer (2) happier
(3) taller (4) younger
(5) bigger (6) earlier
- (1) My father is taller than Ryota.
(2) Today is hotter than yesterday.
(3) This book is easier than that book.

解き方

- (1)(3)(4) er をつけるだけ。
(2)(6) <子音字+y> で終わっているので、y を i にかえて er。
(5) <短母音(i) + 子音字(g)> で終わっているので、子音字(g) を重ねて er。

やりがち
ミス!



- (5) big や hot は er だけをつけが
ちなので注意する。
× bigger hotter
○ bigger hotter

2 (3) easy の比較級は easier。

ここも大事!



前に出た名詞を指す one!

2 (3)は、This book is easier than that one.とも表せる。同じ名詞のくり返しを省略することができる。

52 最上級 (-est)

- 1 (1) longest (2) happiest
(3) tallest (4) youngest
(5) biggest (6) earliest
- 2 (1) My father is the tallest in my family.
(2) This river is the longest in Japan.
(3) This book is the easiest of the five.
(4) This animal is the biggest of all.

解き方

- 1 (2)(6) <子音字+y>で終わっているので、y を i にかえて est。
(5) <短母音 (i) + 子音字 (g)>で終わっているので、子音字 (g) を重ねて est。
- 2 形容詞の最上級の前の the は省略はできない。
(3) of the five などの数字のあとに名詞を続けることもある。ただし、この文では books であることが明らかなので必要はない。
(4) 「すべての中で、全員の中で」は of all とする。「彼ら[それら]すべての中で」というときは of them all とする。

ここも大事!



最上級のあとに名詞が続く!

<主語 + be 動詞 + the + 最上級 + 名詞 + in [of] ~.> の形になることもある。

Tom is the fastest runner of us all.
(トムは私たち全員の中でいちばん速いランナーです。)

53 more、most / 副詞の比較

- 1 (1) Aya can run faster than Emi.
(2) Dan gets up the earliest in his family.
(3) This song is more popular than that one.
(4) His first book is more famous than his second one.
(5) This question is the most important of all.

解き方

- 1 (1) 副詞 fast の比較級は faster。
(2) 副詞 early の最上級は earliest。副詞の最上級の前の the は省くこともある。したがって、the がなくても正解。
(3) popular の比較級は more popular。
(4) famous の比較級は more famous。
(5) important の最上級は the most important。important は形容詞なので、最上級の前の the を忘れないように。

54 as ~ as ... の文

- 1 (1) I am as old as Takuya.
(2) Tom gets up as early as his mother.
(3) Kyushu is not as large as Hokkaido.
- 2 (1) higher than
(2) run faster than

解き方

- 1 (1) old は as と as の間に入る。old は形容詞。
(2) early は as と as の間に入る。early は副詞。
(3) large は as と as の間に入る。large は形容詞。

やりがち
ミス!



(1)~(3) 形容詞や副詞は as と as の間に入る。

× as as old [early, large] ~
○ as old [early, large] as ~

- 2 この書きかえは重要。よく出題される。
(1)(2) 「A は B ほど ~ ない」 → 「B は A より ~ だ」と考える。(2)は、than のあとに I や me を置くこともできる。

ここも大事!



主語が否定語の比較の文!

No one can run faster than Ken in my school.

(私の学校でケンより速く走れる人はいません。)

No one can run as fast as Ken in my school.

(私の学校でケンほど速く走れる人はいません。)

= Ken can run the fastest in my school.

(ケンは私の学校でいちばん速く走ることができます。)

SS 不規則な比較級・最上級

- (1) 私のものよりもよいです
(2) 最も多くの本を持っています
- (1) Aya speaks English better than I do.
(2) Ms. Hara is the best teacher in our school.
(3) I like dogs better than cats.

解き方

- (1) この better は good の比較級。比較の対象になっているのは「私のコンピュータ」なので、1語で表すと「私のもの」= mine になる。
(2) この most は数えられる名詞の前について「(数が)多い」の意味の many の最上級。
(3) like ~ better than ... の文。

ここも大事!



原級・比較級・最上級を使った慣用表現!

- as ~ as possible[... can] (できるだけ~)
Come here as soon as possible[you can]. (できるだけ早くここに来なさい。)
- more than ~ (~以上)
He has more than one hundred books. (彼は100冊以上の本を持っています。)
- at least ~ (少なくとも~)
(least は little の最上級)
He has at least one hundred books. (彼は少なくとも100冊の本を持っています。)

56 疑問詞で始まる比較の文

- (1) ピザとラーメンではどちらのほうが好きですか
(2) いちばん[最も]高い山は何
- (1) Which is larger, this park or that one?
(2) What is the smallest bird in the world? / What bird is the smallest in the world?
(3) Who is the busiest person in your family?

解き方

- (1) Which が like の目的語。この文に答えるには次のようにふつう better を省かない。
I like pizza[ramen] better.
- (1) this park の前にコンマ(,)を忘れない。
(3) 疑問詞 Who を主語として使う。

57 確認問題 9

- (1) happier (2) fastest
(3) better (4) largest
(5) more beautiful (6) best
- (1) as tall as (2) better than
(3) best of (4) as long
- (1) more, than
(2) the best (3) like, better than
(4) more
- (1) Who is the best singer of the five?
(2) He will be able to run as fast as Taku.
(3) Which is more interesting, this book or that one?
(4) Tokyo is the biggest city in Japan.

解き方

- (1) y を i にかえて er をつける。
(2) the と in があるので最上級に。この fast は副詞。
(3) than があるので比較級に。well は不規則に変化する。

(6) good の最上級は best。to solve ~ は形容詞的用法の不定詞。

- 2 (1) 「…と同じくらい～」の as ~ as ... で表す。
(2) well (よく) の比較級 better を使う。
(3) all animals は複数を表すので of を使う。
(4) 「A は B より長い」→ 「B は A ほど長くない」と考える。
- 3 (1) many の比較級は more。
(2) good (じょうずな) の最上級は best。
(3) 「…よりも～のほうが好きだ」は like ~ better than ...。
(4) 「もっと」は形容詞 much の比較級 more で表す。
- 4 (1) best (good の最上級) は名詞 singer の前に。
(2) 副詞 fast を as ~ as ... の文に使う。
(3) interesting の比較級は more interesting。

UNIT 10 受け身の文

58 受け身の文の現在形

- 1 (1) eaten (2) found (3) built
(4) written (5) given (6) made
- 2 (1) English is taught by Ms. Sano.
(2) A lot of animals are seen in the zoo.
(3) Kyoto is visited by many people every year.

解き方

- 1 (1) 過去形は ate。(4) 過去形は wrote。(5) 過去形は gave。これ以外は過去形と過去分詞は同じ形。
2 (1) teach の過去分詞は taught。
(2) see の過去分詞は seen。

ここも大事!



by ~ を省く受け身の文!

2 (2) では行為者の by ~ が示されていないが、示されなくても「(動物園へ) 来る人 = 来園者」とわかるから。次のような文も見ておこう。

English is spoken around the world.

(英語は世界中で話されています。)

【話すのは「人々」とわかる】

Books are borrowed from the library.

(本は図書館から借りられます。)

【借りるのは「来館者」とわかる】

59 受け身の文の過去形

- 1 (1) 今朝そうじされました
(2) 昨日公園で見られました〔見かけられました〕
- 2 (1) This picture was painted by Ami last week.
(2) These books were written many years ago.
(3) Breakfast was made by my sister this morning.

解き方

- 1 (2) seen は see (見える) の過去分詞。過去形は saw。
2 (2) were のあとに過去分詞。written は write の過去分詞。過去形は wrote。
(3) was のあとに過去分詞。made は make の過去分詞。過去形も made。

ここも大事!



目的語が2つある文の受け身の文!

He gave me a present.

(彼は私にプレゼントをくれました。)

2つの目的語を主語にした2とおりの受け身の文ができる。

・人を主語にした受け身の文

I was given a present by him.

(私は彼からプレゼントをもらいました。)

・ものを主語にした受け身の文

A present was given (to) me by him.

(プレゼントが彼から私に与えられました。)

ただし、buy や make などの動詞は、人を主語にした受け身の文を作ることはできない。

60 受け身の否定文

- 1 (1) 使われていません
(2) 何も書かれていませんでした
- 2 (1) This car is not made in Japan.
(2) This song is not loved by young people.
(3) Nobody was seen in the park last night.

解き方

- (2) 否定語が主語の過去の文。written は write の過去分詞。過去形は wrote。
- (2) 過去分詞のあとに by young people を置く。
(3) nobody や nothing は単数あつかいにするので、be 動詞には is か was を使うことも覚えておこう。

61 受け身の疑問文

- (1) Is、cleaned (2) Is、written
- (1) Was / it (2) Were / weren't
(3) Where / seen

解き方

- ふつうの疑問文か疑問詞の疑問文かをまず考える。
(1) 答えの was や疑問文の last year から、過去の疑問文だとわかる。
(2) 答えの last Sunday から過去だとわかり、these pictures と複数なので Were となる。
(3) near the park は場所を表していることから考える。

ここも大事!



What ～や How many ～で始まる疑問文!

次のような疑問詞で始まる疑問文とその答え方も覚えておこう。

・ What language is spoken in this country?

— French is.

(この国では何語が話されていますか。)

— フランス語です。)

・ How many people were invited to the party?

— About fifty people were.

(パーティーには何人の人が招待されましたか。— 約50人です。)

62 助動詞がある受け身の文

- (1) 多くの人々に読まれるでしょう
(2) 使われなければなりません [使わなければなりません]
- (1) Dinner will be cooked by Ami this evening.
(2) This door can't be opened by small children.
(3) This book must be returned to the library.

解き方

- (1) This book is read ... を will の受け身の文にしたもの。
(2) This computer is used ... を must の受け身の文にしたもの。助動詞のある受け身の文を日本語にするときは、ふつうの文に訳すと日本語らしくなることが多い。
- 以下の部分が(助動詞+be+過去分詞)になっている。
(1) will be cooked
(2) can't be opened
(3) must be returned

63 その他の受け身の文

- (1) いつ生まれましたか
(2) 石できています
- (1) He is known to many people in this town.
(2) The top of the mountain is covered with snow.
(3) Butter is made from milk.

解き方

- (2) 見て何からできているかわかる材料には of、— 見してわからない原料には from を使う。
- (1) be known to ～で「～に知られている」。
(2) be covered with ～で「～でおおわれている」。
(3) be made from ～で「～から作られる」。

64 確認問題 10

- (1) spoken (2) at (3) read
(4) were (5) to (6) made
- (1) was written by
(2) interested in
(3) can't [cannot] be
(4) When was、painted
- (1) was taken
(2) will be cleaned
(3) Where was
(4) are spoken
- (1) This window must not be opened.
(2) When was this book written?
(3) A new panda will be seen at the zoo next year.
(4) Where were you born?

解き方

- (1) 主語が English なので is spoken になる。
(2) be surprised at ~で「～に驚く」。
(4) last week があるので、be 動詞は過去形にする。
(5) be known to ~で「～に知られている」。
(6) be made of ~で「～(材料)でできている」。



be 動詞があるからと言ってすぐに進行形と考えないこと。

- (1) English is **X** speaking ~
English is **O** spoken ~

- (1) もとの文の動詞が wrote と過去形なので、受け身の文の be 動詞も過去形にする。
(2) 「AはBにとって興味深い」→「BはAに興味がある」と考える。
(4) 下線部は時を表しているので、Whenのあとに受け身の疑問文の語順を続ける。
- (1) 「(写真を)とる」の take の過去分詞は taken。
(4) 主語が English and French で複数になるので、be 動詞には are を使う。
- (1) <must not be + 過去分詞>の語順になる。
(2) 疑問詞 When で始まる疑問文を作る。
(3) <will be + 過去分詞>の語順になる。
(4) be born で「生まれる」の意味。Where のあとに疑問文の語順を続ける。

UNIT 11 前置詞・会話表現

65 前置詞①

- (1) on, in (2) during (3) on
(4) for (5) before (6) over
(7) by

解き方

- (1) 日付の前には on、年の前には in。
(2) 特定の期間の前には during。
(3) 「壁に」のように接している状態であれば on。「天井に」も on the ceiling とする。
(4) 時間や日数の期間を表す語句の前には for。
(5) 金曜日は土曜日の「前」が「あと」か。
(6) 「(おおむね)～の上方に」は over。under は～の下に」の意味。
(7) by は「～までに」という期限を表し、until [till] は「～まで(ずっと)」という継続を表す。



- (1) May (5月)は月だが、May 14 (5月14日)は日付になるので、in ではなく on。
X in May 14 **O** on May 14

ここも大事!



その他の重要な前置詞!

- ・ from 「～から」〈出身など〉
- ・ by 「～で」〈交通手段など〉
- ・ with 「～といっしょに」「～を使って」
- ・ for 「～にとって」、「～のために」
- ・ in 「(～語)で、(時間の経過)～後に」

66 前置詞②

- (1) 時間どおりに駅に着きましたか
(2) 何をさがしているのですか
(3) 世話をしなければなりません
- (1) with (2) between (3) At
(4) of (5) in (6) Of

解き方

- (1) get to ~で「～に着く」、on time で「時間どおりに」。
(2) look for ~で「～をさがす」。
(3) take care of ~で「～の世話をする」。
- (1) help ~ with ... で「～の…を手伝う」。
(2) between ~ and ... で「～と…の間に」。
(3) at last で「ついに、とうとう」。
(4) in front of ~で「～の前に」。
(5) in time (for ~) で「(～)間に合って」。
(6) of course で「もちろん」。

ここも大事!



その他の重要な連語!

- ・ be proud of ~ 「～を誇りに思う」
- ・ by the way 「ところで」
- ・ arrive at [in] ~ 「～に着く」
- ・ look forward to ~ 「～を楽しみに待つ」
- ・ write to ~ 「～に手紙を書く」

67 会話表現①

- (1) 気分が悪いです
(2) お願いします[と話したいのですが]
- (1) That's too bad.
(2) What's the matter with you?
(3) I'll call back later.

解き方

- (2) 電話で話したい人を伝える表現。
- (1) 相手を気の毒に思うときの表現。
(2) 相手の具合をたずねるときの表現。
(3) 電話をかけなおすと伝えるときの表現。

ここも大事!



その他の表現!

- 体調に関する表現!
 - ・ You don't look well.
(顔色がよくありませんね。)
 - ・ I have a cold. (かぜをひいています。)
- 電話に関する表現!
 - ・ Speaking. (私です。)
 - ・ Hold on, please.
(そのままお待ちください。)
 - ・ Can I take a message?
(伝言をおあずかりしましょうか。)

68 会話表現②

- 1 (1) (私は) 見ているだけです
(2) (あなたの) 左側 [左手] に見えますよ
- 2 (1) Can I try it on?
(2) How can I get to the shopping mall?
(3) How much is this T-shirt?

解き方

- 1 (1) 店員の手助けが不要なとき、まだ買うつもりのないときの表現。
- 2 (1) 何か試着したいときの表現。目的語が it や them のような代名詞のときは try it [them] on の語順になる。また、くつ (shoes) や指輪 (ring) などにも使うことができる。
(2) 目的地に行く方法・道をたずねる表現。
(3) 店員に値段をたずねる表現。

ここも大事!



その他の表現!

- 買い物に関する表現!
 - ・ It's too small [big] for me.
(それは私には小さすぎ [大きすぎ] ます。)
 - ・ What color would you like?
(どんな色がご希望ですか。)
 - ・ Show me another one, please.
(ほかのを見せてください。)
- 道案内に関する表現!
 - ・ Can you tell me the way to the station?
(駅へ行く道を私に教えてくださいませんか。)
 - ・ Change trains at the second station.
(2つ目の駅で乗り換えてください。)
 - ・ His house is next to [across from] the library.
(彼の家は図書館のとなり [向かい] にあります。)

69 確認問題 11

- 1 (1) on (2) at (3) to
(4) in (5) by (6) for
- 2 (1) speak [talk] to
(2) have, number
(3) I, on
(4) call back later
- 3 (1) of (2) at last
(3) looking (4) Of course
- 4 (1) Don't help him with his homework.
(2) There are a lot of trees in front of the shrine.
(3) I like big animals — for example, cows and horses.
(4) The train runs between Tokyo and Akita.

解き方

- 1 (1) 「壁に」は on the wall.
(2) 「最初(のうち)は」は at first.
(3) 「～に着く」は get to ～。
(4) 季節の前には in。
(5) 「明日までに」という期限は by。until は「～まで(ずっと)」の意味。
(6) 期間を表す語句の前には for。during は特定の期間に使う。
- 2 (1) to の代わりに with でもよい。
(2) a ではなく the を使うことに注意。
(3) on は名詞 hat のうしろに置く。
(4) later は文末に置く。
- 3 (1) 「～の世話をする」は take care of ～。
(2) 「ついに」は at last。
(3) 「～をさがす」は look for ～。
(4) 「もちろん」は of course。
- 4 (1) 「～の…を手伝う」は help ～ with …。
(2) 「～の前に」は in front of ～。
(3) 「たとえば」は for example。
(4) 「～と…の間」は between ～ and …。

70 まとめテスト 1

- 1 (1) Shall we
(2) was born
(3) to eat
- 2 (1) as, as (2) It, to read
(3) is spoken (4) Where did, go
- 3 (1) like the best[most]
(2) at swimming
(3) were, writing
(4) sure that
- 4 (1) When was this temple built?
(2) I'm going to visit Kyoto and Nara next month.
(3) This book is more famous than that one.
(4) You don't have to go to bed early today.

解き方

- 1 (1) Let's ~、Shall we ~? とともに誘う言い方になる。
(2) 「私の誕生日は～」→「私は～に生まれた」と考える。
(3) 「食べ物」→「何か食べるもの」と考える。
- 2 (1) 同じ15歳であることから考える。
(2) 形式主語の It を使う。
(3) 受け身の文に。
(4) 下線部は場所を表しているので、Where のあとに一般動詞の過去の疑問文の語順を続ける。went の原形は go。
- 3 (1) 「～がいちばん好きだ」は like ~ the best。
(2) be good at ~ing で「～するのが得意だ」。swimming と m を重ねることに注意。
(3) 過去進行形。write の ing 形は writing。
(4) 「きっと～だと思う」は be sure (that) ~。
- 4 (1) 疑問詞で始まる過去の受け身の疑問文。
(2) 「～するつもりだ」は be going to ~。
(3) more は famous の前に置く。
(4) 「～する必要はない」は don't have to ~。

71 まとめテスト 2

- 1 (1) to hear (2) isn't, tall
(3) going to
- 2 (1) want to be[become]
(2) How many, there
(3) thought, was
(4) enjoyed playing tennis
- 3 (1) what to do
(2) more, than
(3) will be loved
(4) had to
- 4 (1) My brother will be able to read kana soon.
(2) My plan is to stay in Kyoto for a week.
(3) Which is more popular, this book or that one?
(4) The ground is covered with a lot of leaves in fall.

解き方

- 1 (1) 「～して」という原因を表す副詞的用法の不定詞を使う。
(2) 「AはBよりも背が高い」→「BはAほど背が高くない」と考える。
(3) 「明日の計画は？」→「明日は何をするつもりか？」と考える。
- 2 (1) 「～になりたい」は want to be[become] ~。
(2) 下線部は数を表しているので、How many で始まる疑問文にする。
(3) 時制の一致で、is も was にする。
(4) enjoy ~ing 「～して楽しむ」と動名詞を使って表現する。
- 3 (1) 〈疑問詞 + to ~〉の形に。
(2) この more は many の比較級。
(3) 助動詞の受け身の文。〈will be + 過去分詞〉の形になる。
(4) 「～しなければならなかった」は have to の have を過去形にする。
- 4 (1) will のあとに be able to ~ を続ける。will can のように助動詞を2つ続けて使うことはできない。
(2) 補語に名詞的用法の不定詞を使う。
(3) popular の比較級はその前に more を置く。
(4) 「～でおおわれる」は be covered with ~ で表す。

英文和訳



すべての問題を解き終えたら、

和訳⇒英訳にチャレンジ!

単元の仕上げに、ノートに書いてみよう!

① 一般動詞(規則動詞)の過去形

- (1) 洗う (2) 見る (3) 勉強する (4) 閉める
(5) 泣く (6) ほしい
- (1) 私たちはテレビを見ます。→ 私たちは昨夜テレビを見ました。
(2) トムはその大きな箱を運びます。→ トムは昨日その大きな箱を運びました。
(3) 私のおじは奈良に住んでいます。→ 私のおじは5年前に奈良に住んでいました。

② 一般動詞(不規則動詞)の過去形

- (1) 走る (2) 作る (3) 読む (4) 食べる
(5) 泳ぐ (6) 見る、会う
- (1) 彼は高校で英語を教えます。→ 彼は昨年高校で英語を教えていました。
(2) 私たちはたくさんの本を買います。→ 私たちは昨日たくさんの本を買いました。
(3) ジェーンはその公園へ行きます。→ ジェーンは何年も前にその公園へ行きました。
(4) マナは私の家に来ます。→ マナは昨日の夕方私の家に来ました。

③ 一般動詞の過去の否定文

- (1) 私は今朝朝食を食べました。→ 私は今朝朝食を食べませんでした。
(2) ケンは昨日この本を読みました。→ ケンは昨日この本を読みませんでした。
- (1) 彼は先月その行事に来ませんでした。
(2) 私たちは動物園で写真を1枚もとりませんでした。
(3) そのころ兄[弟]は自転車を持っていませんでした。

④ 一般動詞の過去の疑問文

- (1) ユイは今朝、お母さんを手伝いました。→ ユイは今朝、お母さんを手伝いましたか。
(2) 彼女はこの本を書きました。→ 彼女はこの本を書きましたか。
- (1) 「あなたは昨日電車で学校に行きましたか。」「はい、行きました。私は昨日エミと一っしょに電車で学校に行きました。」
(2) 「あなたのお姉さん[妹さん]はこの人形を昨夜作りましたか」「いいえ、作りませんでした。彼女はそれを先月作りました。」

⑤ be 動詞の過去形

- (1) 私は昨日いそがしかったです。

- (2) あなたは先週具合が悪かったです。
(3) その本はとても役に立ちました。
(4) リクとヒナは昨夜の夕食後、ひまでした。
- (1) 私たちは2年前は12歳でした。
(2) 今朝多くの人たちが海にいました。
(3) 私の兄[弟]は昨夜とても怒っていました。

⑥ be 動詞の過去の否定文と疑問文

- (1) その男性は私にとっても親切でした。→ その男性は私にあまり親切ではありませんでした。
(2) その新しいゲームはとてもおもしろかったです。→ その新しいゲームはあまりおもしろくありませんでした。
(3) 私は昨年カナダにいました。→ 私は昨年カナダにいませんでした。
- (1) 昨日は雪が降っていました。→ 昨日は雪が降っていましたか。
(2) 彼らはそのとき台所にいました。→ 彼らはそのとき台所にいましたか。

⑦ 確認問題1

- (1) リアムは昨日夕食を作りました。
(2) 私は先週ひまでした。
(3) 私たちは昨日9時に駅に着きました。
(4) 私の父は2年前に新しい車を買いました。
(5) 彼らはこの前の日曜日に海で泳ぎました。
(6) 原さんは昨年2冊の本を書きました。
- (1) 彼らは昨日テニスをしました。→ 彼らは昨日テニスをしませんでした。
(2) 私たちは先週北海道にいました。→ 私たちは先週北海道にいませんでした。
(3) 彼らは今日英語と数学を勉強しました。→ 彼らは今日英語と数学を勉強しましたか。
(4) 彼女の新しい本はとてもおもしろかったです。→ 彼女の新しい本はとてもおもしろかったですか。

⑧ 疑問詞 + 過去形①

- (1) カイトは今日病院に行きました。→ カイトは今日どこへ行きましたか。
(2) サチは先週この物語を書きました。→ サチはいつこの物語を書きましたか。
- (1) 「だれがこの本を書きましたか。」「中村さんが書きました。」
(2) 「あなたはいつこの自転車を洗いましたか。」「今朝洗いました。」
(3) 「あなたはこの新しい人形をどこで買いましたか。」「京都で買いました。」

⑨ 疑問詞 + 過去形②

- (1) 彼は庭できみょうな虫を見ました。→ 彼は庭で何を見ましたか。
(2) 彼らはそのころ4ひきのネコを飼っていました。→ 彼らはそのころ何ひきのネコを飼っていましたか。
- (1) 「あなたは今日どのようにして駅へ行きました

- か。」「そこへ歩いて行きました。」
- (2)「あなたは今朝何を洗いましたか。」「自分の自転車と父の車を洗いました。」
- (3)「あなたはあの絵に何色使いましたか。」「10色使いました。」

10 過去進行形①

- 1 (1) 私はそのとき英語の歌を歌っていました。
 (2) 私たちは放課後音楽を聞いていました。
 (3) 彼は台所でサンドイッチを作っていませんでした。
- 2 (1) 私は歩いて学校に行きました。→ 私は学校に歩いて行くところでした。
 (2) 私は新聞を読みませんでした。→ 私は新聞を読んでいませんでした。

11 過去進行形②

- 1 (1) 彼らはそのとき宇宙について学んでいました。
 → 彼らはそのとき宇宙について学んでいましたか。
 (2) あなたは昨夜の8時ごろ夕食を食べていました。
 → あなたは昨夜の8時ごろ夕食を食べていましたか。
- 2 (1) 「あなたはそのときステージで何をひいていましたか。」「私はピアノをひいていました。」
 (2) 「生徒たちはそのときどこで走っていましたか。」「校庭です。」
 (3) 「何人の生徒がそのとき走っていましたか。」「50人の生徒たちが走っていました。」

14 確認問題 2

- 1 (1) 私はそのとき音楽を聞いていました。
 (2) 私たちは先月ロンドンにいました。
 (3) 彼女は新しいコンピュータを持っており、毎日それを使っています。
 (4) レンはそのペンを1時間前に箱の中に入れました。
 (5) 彼女はそのとき人形を作っていました。
 (6) 彼は昨夜10時にシャワーを浴びていました。
- 2 (1) 彼らは体育館でバスケットボールをしました。
 → 彼らはどこでバスケットボールをしましたか。
 (2) 彼らはステージで英語の歌を歌っていました。
 → 彼らはステージで何を歌っていましたか。
 (3) リクは昨日学校で5教科を勉強しました。→ リクは昨日学校でいくつの教科を勉強しましたか。
 (4) エバとジョンは今朝ここでテニスをしました。
 → だれが今朝ここでテニスをしましたか。

15 There is[are] ～. の文①

- 1 (1) 私たちの町には新しい図書館があります。
 (2) カップにコーヒーが少しあります。
- 2 (1) 私のかばんには大きなリングが(1個)あります [入っています]。
 (2) 教室にはたった1人の生徒しかいません [たった1人だけ生徒がいます]。

16 There is[are] ～. の文②

- 1 (1) その公園には子どもたちがたくさんいます。
 (2) 5年前にここには大きな建物[ビル]がありました。
- 2 (1) たなの上に10冊の本があります [本が10冊あります]。
 (2) 台所には小さなテーブルがありました。
 (3) そのチームにはじょうずな選手が2人いました [2人のじょうずな選手がいました]。

17 There is[are] ～. の否定文

- 1 (1) 私たちのクラブには多くの部員はいません [部員は多くはありません]。
 (2) 空には雲が(1つ)ありませんでした。
- 2 (1) そのメニューにはフランス料理は(1つ)ありません。
 (2) 昨年は雪が多くはありませんでした [あまり雪は降りませんでした]。
 (3) 昨日通りには車が(1台)いませんでした。

18 There is[are] ～. の疑問文

- 1 (1) 池にたくさんの水があります。→ 池にたくさんの水がありますか。
 (2) 木に何羽かの鳥がいます。→ 木に何羽かの鳥がいますか。
- 2 (1) 「冷蔵庫にたくさんのタマネギがありましたか。」「いいえ、(たくさんは)ありませんでした。1個だけありました。」
 (2) 「あなたの家の近くに公園はありますか。」「はい、あります。それは美しい公園です。」
 (3) 「あなたの学校には何人の先生がいますか。」「約20人の先生がいます。」

19 確認問題 3

- 1 (1) テーブルの上にコップが1つあります。
 (2) コップの中に牛乳が少しあります。
 (3) 机の上に本がたくさんあります。
 (4) 何年も前にここに高い木がありました。
 (5) そのとき教室には数人の生徒がいました。
 (6) 祭りまでたった5日間しかありませんでした。
- 2 (1) 木の下にネコが1匹いました。→ 木の下にたくさんのネコがいました。
 (2) 箱にいくつかオレンジが入っています。→ 箱にはオレンジが1つも入っていません。
 (3) 校庭には数本の高い木があります。→ 校庭には数本の高い木がありますか。
 (4) 壁には3枚の絵がかかっています。→ 何枚の絵が壁にかかっていますか。

20 be going to ～

- 1 (1) 私は明日バドミントンをするつもりです。
 (2) 彼は来週ここに滞在するつもりです。
 (3) 彼はカフェで昼食を食べるつもりです。
 (4) 私たちは銀座に買い物に行くつもりです。
 (5) ケンとユナは5時にここで会うつもりです。
- 2 (1) 私は明日新しい自転車を買うつもりです。
 (2) 彼らは次の[今度の]日曜日に京都を訪れるつもりです。

(3) 彼女は明日の朝早く起きるつもりです。

21 be going to ~の否定文と疑問文

- (1) 私はコンサートで何曲か歌を歌うつもりです。
→ 私はコンサートで1曲も歌を歌うつもりはありません。
(2) 私たちは明日野球をするつもりです。→ 私たちは明日野球をするつもりはありません。
(3) ハナは夕食後出かけるつもりです。→ ハナは夕食後出かけるつもりはありません。
- (1) アレックスは今日の夕方私に電話をするつもりです。→アレックスは今日の夕方私に電話をするつもりですか。
(2) 彼らはカナダで勉強するつもりです。→ 彼らはカナダで勉強するつもりですか。

22 will

- (1) 私はあとでパーティーについてヒナと話すつもりです〔話します〕。
(2) 彼女は明日の夕方パーティーに来るでしょう。
- (1) 私は夕食後にその皿を洗います〔洗うつもりです〕。
(2) レオンは明日の朝早く起きるでしょう。
(3) 明日のラグビーの試合はとてむくむくさせてくれるでしょう。

23 will の否定文と疑問文

- (1) 私は来週京都を訪れるつもりです。→ 私は来週京都を訪れるつもりはありません。
(2) 私たちは今日早く帰宅するつもりです。→ 私たちは今日早く帰宅するつもりはありません〔帰宅しないでしよう〕。
(3) 明日はくもりでしょう。→ 明日はくもりではないでしょう。
- (1) アンはバスでスタジアムへ行くでしょう。→ アンはバスでスタジアムへ行きますか〔行くでしょうか、行くつもりですか〕。
(2) 彼らは日曜日入院中の〔病院にいる〕トムを訪ねる〔見舞いに行く〕でしょう〔つもりです〕。→ 彼らは日曜日入院中の〔病院にいる〕トムを訪ねる〔見舞いに行く〕でしょう〔つもりですか〕か。

26 確認問題 4

- (1) 私はロンドンに滞在するつもりです。
(2) 私たちは来月鎌倉を訪れるつもりです。
(3) 彼女は毎朝公園に行きます。
(4) 彼は明日友だちと勉強するでしょう。
(5) 明日は晴れるそうです。
(6) 彼らは駅で会うつもりです。
- (1) 私たちには明日の夕方何人かゲストがあります。→ 私たちには明日の夕方1人もゲストがありません。
(2) ルークはこの町を来年去るつもりです。→ ルークはこの町を来年去るつもりはありません。
(3) 彼のお兄さん〔弟さん〕は明日歩いて図書館へ行くつもりです。→ 彼のお兄さん〔弟さん〕は

明日歩いて図書館へ行くつもりですか。

- (4) 彼はそこで3人の人に会うつもりです。→ 彼はそこで何人の人に会うつもりですか。

27 and / but / or / so

- (1) 急ぎなさい、さもないと電車で乗り遅れますよ。
(2) 急ぎなさい、そうすれば電車に間に合いますよ。

28 when / if / because など

- (1) 私は病気だったので〔具合が悪かったので〕家にいました。
(2) 私が家に着いたとき、雨が降っていました。
(3) 彼がもどるまでここで待ってもらえますか。
(4) 私は寝る前に音楽を聞きます。
(5) 宿題をしたあとに出かけなさい。
- (1) 私は子どものとき、オーストラリアに住んでいました。
(2) もしあなたが今日の午後いそがしいなら、お手伝いしましょう。
(3) 私はプレゼントをもらってとてもうれしかったです。

29 that

- (1) 私は彼はよい生徒だと思います。
(2) 私は彼女がパーティーに来てくれたらいいなと思います。
(3) 私は彼女はこのコンピュータを使うことができないと思います。
- (1) あなたはケンがアメリカにいることを知っていますか。
(2) 明日雨が降ると聞いています〔雨が降るそうです〕。

30 be 動詞+形容詞(+that) ~

- (1) ユウナは彼女のネコが突然死んだことを悲しんでいます。
(2) 私はあなたが私のプレゼントを気に入ってくれてうれしいです。
- (1) きっとあなたはこの本を(読んで)楽しんでくれると思います。
(2) 彼はまた負けるのではないかと心配しています。
(3) あなたがパーティーに来られないことが残念です。

31 確認問題 5

- (1) あなたと私は仲のよい友だちです。
(2) これは本ですか、それともノートですか。
(3) 私は彼がたくさんの本を持っていることを知っています。
(4) 私たちは彼がもどって来るまでテレビゲームをしました。
(5) もう家を出なさい、さもないと電車で乗り遅れますよ。
(6) 明日雨が降ったら、私は出かけません。
- (1) 私は彼は新入生だと思います。→ 私は彼は新入生だと思いました。

- (2) 急ぎなさい、そうすれば最終電車に間に合うでしょう。→ もし急げば、最終電車に間に合うでしょう。
- (3) あなたはその映画が気に入るでしょう。→ あなたはその映画がきっと気に入ると思います。
- (4) 食べる前に手を洗いなさい。→ 手を洗ったあとに食べなさい。

32 不定詞の名詞的用法①

- 1 (1) 私は動物園に行きたいです。
 (2) 彼はマンガ本を読むのが好きです。
 (3) 私たちは昨年、英語を学び始めました。
 (4) 今しがた雨が降り始めました。
- 2 (1) 私は新しいコンピュータを買うことに決めました。
 (2) 私はまたあなたに会うことを望みます[会えたらいいと思います]。
 (3) 私はここにいたいのですが。

33 不定詞の名詞的用法②

- 1 (1) 英語をじょうずに話すことは簡単ではありません。
 (2) 私の夢は宇宙飛行士になることです。
- 2 (1) 早起きすることはあなたにとってよいことです。
 (2) 私の計画はロンドンでいくつかの博物館を訪れることです。
 (3) そこへひとりで行くことはとても危険です。

34 不定詞の副詞的用法①

- 1 (1) マユは英語の教師になるために一生けんめいに勉強しました。
 (2) 私の姉は美術を勉強するためにパリへ行きました。
- 2 (1) 私は花の写真を撮るために公園へ行きました。
 (2) 私はインターネットを楽しむためにコンピュータを使います。
 (3) ショウタは医者になるために一生けんめい勉強しています。

35 不定詞の副詞的用法②

- 1 (1) 私はすてきなプレゼントをいただいてとてもうれいです。
 (2) アミはその事故についての知らせ[ニュース]を聞いて悲しくなりました。
- 2 (1) 私はその事実を知って驚きました。
 (2) 私はあなたが無事だと知ってうれしいです。
 (3) あなたのお母さんは、あなたのテストの点数を見て怒るでしょう。

36 不定詞の形容詞的用法①

- 1 (1) 私には私を助けてくれる友人がたくさんいます。
 (2) 私には今日することが何もありません。
- 2 (1) 私はその自転車を買うお金がありません。
 (2) 私は何か飲むものがほしいです。
 (3) 私には言うべきことは何もありません。

37 不定詞の形容詞的用法②

- 1 (1) 彼にはすわるいすがありませんでした。
 (2) 私は何かからい[温かい]食べ物かほしいです。
- 2 (1) 彼にはそのとき住む家がありませんでした。
 (2) 私は何か冷たい飲み物がほしいです。
 (3) 私は話し相手[いっしょに話すだれか]かほしいです。

38 確認問題 6

- 1 (1) 私は友だちとサッカーをするのが好きです。
 (2) 私の夢は月に行くことです。
 (3) あなたは私に会うためにここに来たのですか。
 (4) 私は昼食用に何か食べるものがほしいです。
 (5) 私はそのニュースを聞いてとても驚きました。
 (6) 私は10年前にピアノをひき始めました。
- 2 (1) 彼は野球の選手です。→ 彼は野球の選手になりたいと思っています。
 (2) 私は何か食べ物かほしいです。→ 私は何か食べるためのものがほしいです。
 (3) 彼は公園へ行きました。彼はそこでサッカーをしました。→ 彼はサッカーをしに公園へ行きました。
 (4) 私は彼女と話したかったが、時間がありませんでした。→ 私には彼女と話す時間がありませんでした。

39 動名詞①

- 1 (1) 私は映画を見に行くのが好きです。
 (2) フランス語を話すのは簡単ではありません。
 (3) 私の趣味は写真を撮ることです。
 (4) 彼女はさようならを言わないで部屋を去りました。
- 2 (1) 彼女に手紙を書くのはどうですか[手紙を書いてみませんか]。
 (2) ケンは泳ぐのが得意ではありません。
 (3) 私の趣味は古い切手を集めることです。

40 動名詞②

- 1 (1) 話すのをやめて私の言うことを聞きなさい。
 (2) 私は今夜そのパーティーに行きたくありません。
 (3) 明日の朝忘れずに私に電話しなさい。
 (4) すぐにあなたにお会いできればいいですね。
- 2 (1) 私はその市を訪れたことを覚えていません[思い出せません]。
 (2) 私たちはテレビでその試合を見て楽しみました。
 (3) あなたはいつその本を読み終えましたか。

41 疑問詞 + to ~

- 1 (1) 私はこの機械の使い方を知りたいです。
 (2) あなたは彼にどこに行けばいいかを言いましたか。
- 2 (1) 私は京都で何を見たらいいか知りたいです。
 (2) 私は彼にいつここに来ればいいかを言うつもりです。

(3) 私にギターのひき方を教えてください。

42 It is ... (for -) to ~.

- (1) この川で泳ぐことはとても危険です。
(2) あなたがこの質問に答えることは難しいですか。
- (1) 音楽を聞くことは楽しいです。
(2) 星を見ることはおもしろいです。
(3) あなたがその人に会うことは大切なことです。

43 確認問題 7

- (1) 私は明日どこに行けばいいかわかりません。
(2) 彼女は何も言わずに部屋を出ました。
(3) テレビを見るのをやめてもう寝なさい。
(4) 私たちはテニスをするために公園へ行きました。
(5) あなたは将来何になりたいですか。
(6) 今日はパーティーに来てくださってありがとう。
- (1) そのニュースを聞いたとき私は驚きました。→ そのニュースを聞いて私は驚きました。
(2) このコンピュータを使うのは難しくありません。
(3) 私たちは東京に滞在しました。→ 私たちは東京に滞在することに決めました。
(4) 私はいつここを出発したらいいかたずねました。→ 私は彼女にいつここを出発したらいいかたずねました。

44 may

- (1) あとであなたの電話を使ってもいいですか。
(2) 私の母は今怒っているかもしれません。
- (1) その知らせを聞いて彼女は驚くかもしれません。
(2) あなたのEメールアドレスをおたずねしてもいいですか。
(3) 彼女は今日外出しないかもしれません。

45 must

- (1) あなたは私のコンピュータにさわってはいけません。
(2) 彼は長く歩いたあとで疲れているにちがいありません。
- (1) 私は今日その宿題を終えなければなりませんか。
(2) あなたは毎日お母さんを手伝わなければなりません。
(3) これは彼女の新しいバッグにちがいありません。

46 Will you ~?

- (1) 今日私の仕事を手伝ってくれませんか。
(2) もっとケーキを食べませんか。
- (1) 窓を開けてくれませんか。
(2) 私のために私の車を洗ってくれませんか。
(3) 紅茶を飲みませんか[紅茶はいかがですか]。

47 Shall I ~? / Shall we ~?

- (1) 私がその重い箱を運びましょうか。
(2) パーティーでいっしょに踊りませんか。
- (1) 今晚私が夕食を作りましょうか。
(2) (いっしょに) 図書館へ行きましょうか[行きませんか]。

(3) (私たちは) 今日は何をしましょうか。

48 could / would / should

- (1) あなたはそのようなことをすべきではありません。
(2) ドアを開けていただけますか。
- (1) あなたは病院に行くべきです[行ったほうがいいです]。
(2) 私たちは今何をすべきですか[何をしようか]。
(3) 何か食べるものはいかがですか。

49 have to / be able to

- (1) あなたは今日宿題を終える必要はありません。
(2) あなたはこの英語の歌を歌うことができますか。
- (1) 私はこの前の日曜日に学校へ行かなければなりませんでした。
(2) 彼は故郷を離れなければならないでしょう。
(3) 彼女はその問題を解くことができました。

50 確認問題 8

- (1) 彼は今日田中さんに会わなければなりません。
(2) 彼はじょうずな野球選手にちがいありません。
(3) 今あなたをお手伝いしましょうか。
(4) 今夜私に電話していただけますか。
(5) あなたは今日そこへ行くべきではありません。
(6) 彼はとても速く走ることができます。
- (1) あなたは今日ここにいます。→ あなたは今日ここにいる必要はありません。
(2) ケンはじょうずに泳ぐことができます。→ ケンはじょうずに泳げるようになるでしょう。
(3) 博物館に行きましょう。→ 博物館に行きませんか。
(4) 今日外出してはいけません。

51 比較級 (-er)

- (1) 私の父は背が高いです。→ 私の父はリョウタよりも背が高いです。
(2) 今日は暑いです。→ 今日は昨日よりも暑いです。
(3) この本は簡単です。→ この本はあの本よりも簡単です。

52 最上級 (-est)

- (1) 私の父は背が高いです。→ 私の父は家族の中でいちばん背が高いです。
(2) この川は長いです。→ この川は日本でいちばん長いです。
(3) この本は簡単です。→ この本は(その)5冊の中でいちばん簡単です。
(4) この動物は大きいです。→ この動物はすべての中でいちばん大きいです。

53 more, most / 副詞の比較

- (1) アヤは速く走ることができます。→ アヤはエミより速く走ることができます。
(2) ダンは早く起きます。→ ダンは家族の中でいちばん早く起きます。

- (3) この歌は人気があります。→ この歌はあの歌よりも人気があります。
- (4) 彼の最初の本は有名です。→ 彼の最初の本は2冊目の本よりも有名です。
- (5) この問題は重要です。→ この問題はすべての中で最も重要です。

54 as ~ as ... の文

- 1 (1) 私はタクヤと同じくらいの年齢です。
 (2) トムはお母さんと同じくらい早く起きます。
 (3) 九州は北海道ほど大きくありません。
- 2 (1) 阿蘇山は富士山ほど高くありません。→ 富士山は阿蘇山よりも高いです。
 (2) 私はタカシほど速く走ることができません。→ タカシは私よりも速く走ることができます。

55 不規則な比較級・最上級

- 1 (1) あなたのコンピュータは私のよりもよいです。
 (2) ダイキは私たち全員の中で最も多くの本を持っています。
- 2 (1) アヤは私よりもじょうずに英語を話します。
 (2) 原先生は私たちの学校でいちばんよい先生です。
 (3) 私はネコよりも犬のほうが好きです。

56 疑問詞で始まる比較的文

- 1 (1) あなたはピザとラーメンではどちらのほうが好きですか。
 (2) 日本でいちばん高い山は何ですか。
- 2 (1) この公園とあの公園とでは、どちらのほうが広い[大きい]ですか。
 (2) 世界でいちばん小さな鳥は何ですか。/ 何の鳥が世界でいちばん小さいですか。
 (3) あなたの家族の中でだれがいちばんいそがしい人ですか。

57 確認問題 9

- 1 (1) 私は昨日より今日のほうが幸せです。
 (2) 彼はクラスでいちばん速く走ることができます。
 (3) 彼女は私よりじょうずに歌います。
 (4) これは市でいちばん大きい公園です。
 (5) この絵[写真]はあの絵[写真]よりも美しいです。
 (6) これはその問題を解決するための最良の方法です。
- 2 (1) 私の身長は160 cm です。ケンの身長も160 cm です。→ 私はケンと同じ身長です。
 (2) 私はヒルさんをよく知っています。→ 私は彼よりもヒルさんをよく知っています。
 (3) 私はパンダが好きです。→ 私はすべての動物の中でパンダがいちばん好きです。
 (4) この橋はあの橋より長いです。→ あの橋はこの橋ほど長くありません。

58 受け身の文の現在形

- 2 (1) 英語は佐野先生によって教えられます。
 (2) たくさんの動物が動物園で見られます。

- (3) 京都は毎年多くの人々によって訪れられています。

59 受け身の文の過去形

- 1 (1) 彼の部屋は今朝そうじされました。
 (2) 何羽かのきみような鳥が昨日公園で見られました。
- 2 (1) この絵は先週アミによって描かれました。
 (2) これらの本は何年も前に書かれました。
 (3) 今朝の朝食は私の姉[妹]によって作られました。

60 受け身の否定文

- 1 (1) この部屋は今使われていません。
 (2) その紙には何も書かれていませんでした。
- 2 (1) この車は日本製ではありません。
 (2) この歌は若い人たちに愛されていません。
 (3) 昨夜公園ではだれも見かけられませんでした。

61 受け身の疑問文

- 1 (1) この部屋は毎日そうじされています。→ この部屋は毎日そうじされていますか。
 (2) この本はフランス語で書かれています。→ この本はフランス語で書かれていますか。
- 2 (1) 「横浜は昨年多くの人に訪れられましたか。」「はい、訪れられました。」
 (2) 「これらの写真は、この前の日曜日に長野でとられましたか。」「いいえ、とられていません。」
 (3) 「その鳥はどこで見られましたか。」「公園の近くで見られました。」

62 助動詞がある受け身の文

- 1 (1) この本は多くの人たちに読まれるでしょう。
 (2) このコンピュータは注意深く使わなければなりません。
- 2 (1) 今夜はアミによって夕食が作られるでしょう。
 (2) このドアは小さな子どもたちが開けることはできません。
 (3) この本は図書館へ返却されなければなりません。

63 その他の受け身の文

- 1 (1) あなたはいつ生まれましたか。
 (2) この橋は石でできています。
- 2 (1) 彼はこの町の多くの人々に知られています。
 (2) その山の頂上は雪でおおわれています。
 (3) パターは牛乳から作られます。

64 確認問題 10

- 1 (1) 英語はオーストラリアで話されています。
 (2) 私はその知らせ[ニュース]に驚きました。
 (3) この本は世界中で読まれています。
 (4) 彼らの何人かが先週そのパーティーに招待されました。
 (5) 彼の名前は多くの日本人に知られています。
 (6) この家は木でできています[木造家屋です]。
- 2 (1) 本田さんがこの本を書きました。→ この本は本田さんによって書かれました。
 (2) この本は私にとって興味深いです。→ 私はこ

の本に興味があります。

- (3) 今日はこの部屋を使えません。→ この部屋は今日は使えません。
- (4) この絵は1990年に描かれました。→ この絵はいつ描かれましたか。

65 前置詞①

- 1 (1) 私は2010年の5月14日に生まれました。
(2) ロンドンを訪問している間にあなたは何をしましたか。
(3) 壁に絵が1枚かかっています。
(4) 私は1週間京都に滞在するつもりです。
(5) 金曜日は土曜日の前に来ます。
(6) 山の上方にある雲を見て。
(7) 5時までここに来なさい。

66 前置詞②

- 1 (1) 彼は時間どおりに駅に着きましたか。
(2) あなたはここで何をさがしているのですか。
(3) 私たちはお年寄りの人たちの世話をしなければいけません。
2 (1) 私の宿題を手伝ってくれませんか。
(2) 名古屋は東京と大阪の間にあります。
(3) ついに彼らはその試合に勝ちました。
(4) 駅の前に公園があります。
(5) 私は終電に間に合いました。
(6) もちろん私はあなたを手伝います。

67 会話表現①

- 1 (1) 私は気分[具合]が悪いです。
(2) アヤさんをお願いします。
2 (1) それはいけませんね。
(2) (あなたは) どうされましたか。
(3) あとでかけなおします。

68 会話表現②

- 1 (1) 見てだけです、ありがとう。
(2) その店は左側に見えますよ。
2 (1) それを試着してもいいですか。
(2) ショッピングモールへはどう行けばいいですか。
(3) このTシャツはいくらですか。

69 確認問題11

- 1 (1) あなたは壁にかかっている絵が見えますか。
(2) 私は最初は彼が好きではありませんでした。
(3) あなたは何時に駅に着きましたか。
(4) これらの花は春に咲きます。
(5) あなたは明日までにこの仕事を終えることができますか。
(6) 私はここに1か月間滞在するつもりです。
2 (1) ミユさんをお願いします[ミユさんとお話したいのですが]。
(2) 番号をまちがっています。
(3) このぼうしをかぶってみてもいいですか。
(4) あとでかけなおします[折り返し電話いたします]。

70 まとめテスト1

- 1 (1) 今夜パーティーに行きましょう。→ 今夜パーティーに行きましようか[行きませんか]。
(2) 私の誕生日は7月7日です。→ 私は7月7日に生まれました。
(3) 私は食べ物が必要です。→ 私は何か食べるものがが必要です。
2 (1) ケイトは15歳です。エイミーも15歳です。→ ケイトとエイミーは同じ年です。
(2) たくさんの本を読むことはおもしろいです。
(3) 多くの国々で人々は英語を話しています。→ 英語は多くの国々で話されています。
(4) 彼は昨日その新しい公園へ行きました。→ 彼は昨日どこへ行きましたか。

71 まとめテスト2

- 1 (1) 私はその知らせを聞いたとき悲しかったです。→ 私はその知らせを聞いて悲しかったです。
(2) アンディーはボブより背が高いです。→ ボブはアンディーほど背が高くありません。
(3) あなたの明日の予定は何ですか。→ あなたは明日何をするつもりですか。
2 (1) 私は医者です。→ 私は医者になりたいです。
(2) 箱にリンゴが10個あります。→ 箱に何個のリンゴがありますか。
(3) 私はベニーは親切な少女だと思います。→ 私はベニーは親切な少女だと思いました。
(4) 私たちは昨日テニスをしました。私たちはそれを楽しみました。→ 私たちは昨日テニスをして楽しみました。